

東京高等裁判所アンケート 20050304

「図解思考法」は、考えてもみなかった

これからの裁判所制度に活用されるのではないかと思われた

研修員が今後の職務に活かすということを実感している

先生の書いた本をもう少し勉強してみたいと思う

家庭裁判所で相続関係図を作成するが、これがあれば一目で家族関係がわかる

視覚に訴えることは印象に残り、問題点把握も明確にでき、有意義であった

文章でミーティングの結果をまとめていたが立体的に把握していなかったことがわかった

まさに「目からウロコが落ちる発想法」だった

自分なりにできる範囲で今後の仕事に取り入れていきたいと思う

判断書の図解化を期待している

箇条書きが思考を停止させることは気づかなかった

視覚に訴えることは印象に残り、問題点把握も明確にでき、有意義であった

文章社会に生きている私達にとって新鮮な発想であり、興味深く聴いた庶務課長は職員等への説明の仕事も多いが、今後は図解による説明を行ってみたいと思う

考えることも具体性わかりやすさが盛り込まれており、非常に参考になった

文章そのものの事態の説得力という発想はなかったので刺激になった

なぜ会議の席で他の人は理路整然と議論できるのだろうか、と今まで学んだ知識をよく忘れないで議論の場に持ち出せるのだろうか、と考えていたことを講師の話から聞き、少しその答えのヒントを与えられたように思う

今後の職務遂行や部下指導に大いに役立てたい

最近では図解を多用した法律書も登場しており、非常にわかりやすいと感じていたので、納得する点が多かった

講義の方法もよかったし、内容もおもしろかった

図解六法できたらすごいと思う 法の分野でも質と量の考慮は十分なされていると思うのだが

考えるということの重要性を認識させられ、企画立案の際の説明や、修正に「図解」が有効であるということも認識できた

法律的な表現も一般人にとっては方言に等しいものであるという考え方に感銘を受けるところがあった

始めはなかなかわからなく困っていたが時間がたつにつれてだんだん活?の内容に引き込まれていった 自分の中で先生のおっしゃった言葉が身についているものと確信している これからもe-mailの中で色々ご指導いただければ幸いです

裁判所の「アクションプラン」を管理者向けに分りやすく解説するために「図解マスター」を利用したが、一枚で表現する制約があったものの、非常に使い勝手の良い商品だということがわかった